

## 科目名：社会の理解Ⅱ

対象クラス(専攻/コース)：2学年 介護福祉学科

単位数：1

担当教員名：福島岳志

授業形態：講義(全15回)

教材：最新介護福祉士養成講座2 社会の理解 中央法規出版株式会社

※配布資料・スマートフォン・タブレット端末なども活用する。

教員の実務経験：介護保険施設・在宅介護事業所にて介護職(介護福祉士)として10年間経験

授業内容(実務経験を活かした指導内容)：

各種法律・制度・施策の下で運営され、適正なサービス提供が必要とされる介護現場において、サービス提供・マネジメント業務を行ってきた経験を活かし、下記の学習目的が達成できるように授業を実施していく。

**学習目的** 介護保険制度の理解を深め、障害者福祉と障害者保健福祉制度や他の介護実践に関連する諸制度にどのようなものがあるかを具体的に学ぶ。

**授業内容** ①社会の理解Ⅰの内容を引き継ぎ、学びを深めていく内容とする。  
②介護保険制度の内容を理解し、高齢者福祉の現状と課題を捉える内容とする。  
③障害者福祉及び権利擁護等の制度・施策について、介護実践に必要な観点から基礎的な知識を習得する学習とする。

到達目標：

- (1) 介護保険制度の基本的な考え方としくみについて理解する。
- (2) 障害者福祉制度の基本的な考え方としくみについて理解する。
- (3) 障害者総合支援法の内容、障害者福祉の現状と課題について理解する。
- (4) 人間の尊厳と自立にかかわる権利擁護や個人情報保護等、介護実践に関連する制度・施策について理解する。

評価方法/基準：

授業態度(出欠席・姿勢・提出物・使用物品の準備など)、確認テスト・総まとめ試験などの結果を総合的に評価する。(総まとめ試験 70% 確認テスト 10% 授業態度 20%)  
※総まとめ試験は60点以上を合格とする。(国家試験合格の確実性を高める為には、80%以上の正答率が必要であり常に80点以上を目標に学習に取り組むこと)

その他、注意事項：

授業を円滑に行うと共に質の高い学習とするために、以下の点について留意すること。

### 1、事前学習

毎回の授業前に、授業範囲のページに目を通しておくこと。課題が出た場合は課題を行っておくこと。

## 2、事後学習

毎回の授業内容・確認テストを再確認（復習）し、理解を深めておくこと。

課題やレポートの提出を指示した場合は、作成し指定期間までに提出すること。

関連する主な検定試験：介護福祉士国家試験

キーワード：高齢者福祉、介護保険制度、介護保険サービス、ケアマネジメント、介護予防、地域包括ケアシステム障害者福祉、法的定義、法律、制度、個人の権利、地域生活、保健医療、連携、生活保護

### <授業計画>

第1週	介護保険制度1（テキストP148～164）	講義
第2週	介護保険制度2（テキストP164～186）	講義
第3週	介護保険制度3（テキストP186～203）	講義・確認テスト
第4週	障害者保健福祉動向1（テキストP206～217）	講義
第5週	障害者保健福祉動向2（テキストP217～221）	講義・確認テスト
第6週	障害者保険福祉に関する法体系（テキストP222～230）	講義・確認テスト
第7週	障害者総合支援法1（テキストP231～242）	講義
第8週	障害者総合支援法2（テキストP242～251）	講義
第9週	障害者総合支援法3（テキストP251～257）	講義・確認テスト
第10週	個人の権利を守る制度・施策2（テキストP260～274）	講義
第11週	個人の権利を守る制度・施策2（テキストP274～283）	講義・確認テスト
第12週	保健医療に関する制度・施策（テキストP285～297）	講義・確認テスト
第13週	貧困対策・生活困窮者支援に関する制度・施策 （テキストP298～307）	講義・確認テスト
第14週	地域生活を支援する制度・施策（テキストP308～318）	講義・確認テスト
第15週	総まとめ（第1週～14週までの内容）	試験・解説

（注釈）

授業計画については、学生の知識の定着・習熟度などにより変更する場合があります。